ユーザーズマニュアル

ver. 1.0 J



iAUDIO U3

BBE Mach3Bass · MP3 DIGITAL AUDIO · Ogg vorbis · Windows Media · Mac OS · LDB Lyric Data Base · JetAudio

一般

- COWONは(株)コウォンシステムの登録商標です。
- 本製品は家庭用であり、営業用には使用できません。
- 本マニュアルのすべての著作権は(株)コウォンシステムが持っており、本マニュアルの一部または全部の無断配布を禁じます。
- JetShell、JetAudioの著作権は(株)コウォンシステムが持っており、当社から書面による同意を得ず無断で配布するか商業的に利用することを禁じます。
- JetShell、JetAudioの変換機能を利用して作成したファイルを個人的な用途以外に商業的に使用するかサービスの目的で使用することは著作権法に抵触する行為です。
- (株)コウォンシステムはレコード／ビデオ／ゲーム関連の法令を遵守します。それ以外の一切の成文化された関係法令の遵守は実際使用するユーザの責任です。
- 製品を購入しましたら直ちにhttp://www.iAUDIO.comで正式に顧客登録を行うことをお勧めします。正式顧客として登録すると、正会員のみに提供する様々な特典を受けられます。
- 本マニュアルに記載された例題原文や図表、写真は予告なく変更されることがあります。
- 本マニュアルに表示された製品の機能または規格は性能向上のために予告なく変更されることがあります。

BBE関連

- BBE Sound, Inc.のライセンスにより生産されます。
- USP4638258、5510752および5736897によりBBE Sound, Inc.がライセンス権を保有しています。
- BBEとBBEシンボルはBBE Sound, Inc.の登録商標です。

DIGITAL PRIDE.

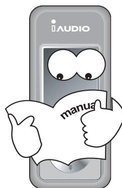
COWON



iAUDIO U3

iAUDIO U3

製品使用時の注意事項



本マニュアルに記載している目的以外には本製品を使用しないでください。



製品箱、ユーザーズマニュアル、付属品の取り扱いの際、指などが切られないように注意してください。



本製品を水に入れたり、湿気の多いところに長時間保管しないでください。浸水による障害は無償アフターサービスの対象になりません。また、機器の使用がまったく不可能になるおそれがあります。



本製品をご自分で分解または改造した場合は、無償サービスを受けられません。



USBケーブルを使用するときは挿入方向に注意してください。間違った方向に差し込むと、コンピュータや機器の破損のおそれがあります。
また、USB接続ケーブルを無理に曲げたり、重い物に押された状態で使用することを控えてください。



本製品に強い衝撃を与えないでください。また、使用途中本製品から変な臭いがしたり、ひどい熱が発生する場合は、「RESET」ボタンを押して製品の動作を停止した後、購入先へお問い合わせください。

※ 製品の保管の際、熱すぎるところや寒すぎるところはできるだけ控えてください。外見の変形や製品内部の損傷、ディスプレイの表示に問題をもたらすおそれがあります。

ぬれた手で本製品を使用すると誤動作のおそれがあります。



大音量で長時間聴くと、聴力に問題が発生するおそれがありますので、格別に注意してください。



静電気の発生がひどいところでの使用は控えてください。誤動作のおそれがあります。



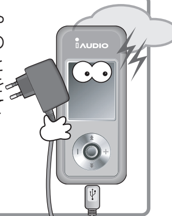
本製品の修理を依頼するときは、修理に出す前に必ず機器に保存されているすべてのデータを直接バックアップしてください。修理途中製品に保存されているデータは削除されるおそれがあります。アフターサービスセンターでは製品に保存されているデータのバックアップを行いません。また、データの損失に対して責任を負いません。



ACアダプタとUSBケーブルは、必ず(株)コウォンシステムが提供するものだけを使用してください。



雷、稲妻のある日には落雷や火災のおそれがありますので、必ずコンピュータ本体とACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いておいてください。



※ 本製品をリムーバブルディスクとして活用する場合は、万一に備えて重要なデータは必ずバックアップを行ってください。メーカはデータの損失に対して責任を負いません。

※ 本製品は状況によって予期せぬ大幅な価格変動がありえます。その場合、価格補償はしません。

1. iAUDIO U3とは?

㈱コウォンシステムで製造・生産するマルチメディアプレーヤの固有ブランドで、MP3ファイルを含め様々なマルチメディア音楽ファイルとMPEG4動画ファイルの再生機能、FMラジオの聴取と録音機能、内蔵マイクまたはラインイン入力端子によるレコーディング、テキストビューアとイメージビューアなどをサポートする超小型ポータブルデジタル音響機器です。

持ち歩きやすく洗練された超小型デザイン
iAUDIO U3は31.5 X 72.0 X 18.0 mm(突出部を除く)の超小型デザインで、持ち歩きやすいです。

内蔵型リチウムポリマー充電池を搭載して最長20時間連続再生
超省エネ回路を採用して長い再生時間を実現しており、フル充電で最長20時間まで連続再生が可能です。(当社テスト環境基準)

様々な音楽フォーマットサポート
MP3、OGG、WMA、WAVはもちろんのこと、フラッシュメモリ製品としては世界で初めてロスレス圧縮コーデックのFLACをサポートします。

動画再生
JetAudio VXを利用して最大1秒当たり15フレームの動画に簡単に変換および転送が可能です。転送された動画ファイルはiAUDIO U3で再生できます。

便利なテキストビューアおよびイメージビューア
テキストファイルとイメージファイルをiAUDIO U3で簡単に見ることができます。また、テキストファイルの場合は音楽を聴きながら見ることもできます。

ボイスレコーディング(音声録音)
内蔵マイクまたは外部のマイクを接続して音声録音(ボイスレコーディング)を行えます。この機能を利用すると、重要な会議や講義の内容を簡単に録音することができます。

ダイレクトエンコーディング(ラインイン録音)
外部の音響機器の出力を受け入れ、1:1で録音できるダイレクトエンコーディング機能を提供します。この機能は、録音端子と外部の音響機器の出力端子を両方向ラインインケーブルで接続して録音することを意味します。この機能を利用すると、ワークマン、MD (mini disk)、古いレコードプレーヤ、テレビなどの音響機器から直接音を受け入れ、iAUDIOに録音できます。

FMラジオの聴取と録音
FMラジオを聴いたり、放送を機器に録音(予約録音も可能)したりすることができます。特にこの機能は語学勉強に非常に有用です。また、検索されたラジオ周波数をチャンネル番号に保存できるプリセット(Preset)機能を提供します。

色あざやかでワイドなディスプレイ
160 x 128 dot、26万カラーTFT-LCDをサポートしますので、一目で機器の全体的な動作状態を簡単に確認できます。

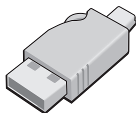
全世界が認めた最強の音場
全世界が認めたiAUDIOならではのパワフルかつデリケートなサウンドを提供します。下の音場効果をすべて利用できます。
BBE : 音を鮮明にする音場効果
Mach3Bass : 超低域を強調してくれるベースブースター
MP Enhance : 損なわれた音を補正してくれる音場効果
3D Surround : 立体音響

ファームウェアのアップグレードもいつも新しく
ファームウェアのアップグレード機能を利用して性能を向上できます。持続的にファームウェアのアップグレード(非定期的)を提供することで、ユーザのニーズに応えています。

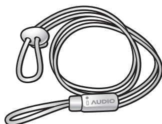
リムーバブルディスク機能
USBケーブルを接続するだけで直ちにリムーバブルディスクとして認識されます。これからは別途の小容量のUSBドライブは要りません。

JetAudioの提供
世界的な統合マルチメディア再生ソフトウェアのJetAudio Basic VXを提供します。別途のプログラムなしに、JetAudioの変換ツールを利用して簡単にU3用の動画に変換できます。

2. パッケージの構成



USB接続ジャック



ネックストラップ



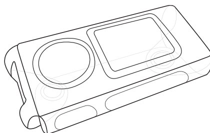
iAUDIO (MP3プレーヤ本体)



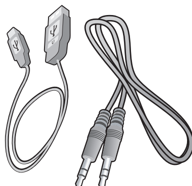
クイックガイド
インストールCD(JetShell、JetAudio、
オンラインユーザーズマニュアル)



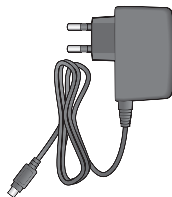
イヤホン



透明キャリングケース(別売)



USBケーブル、Line-in録音ケーブル



電源アダプタ(別売)

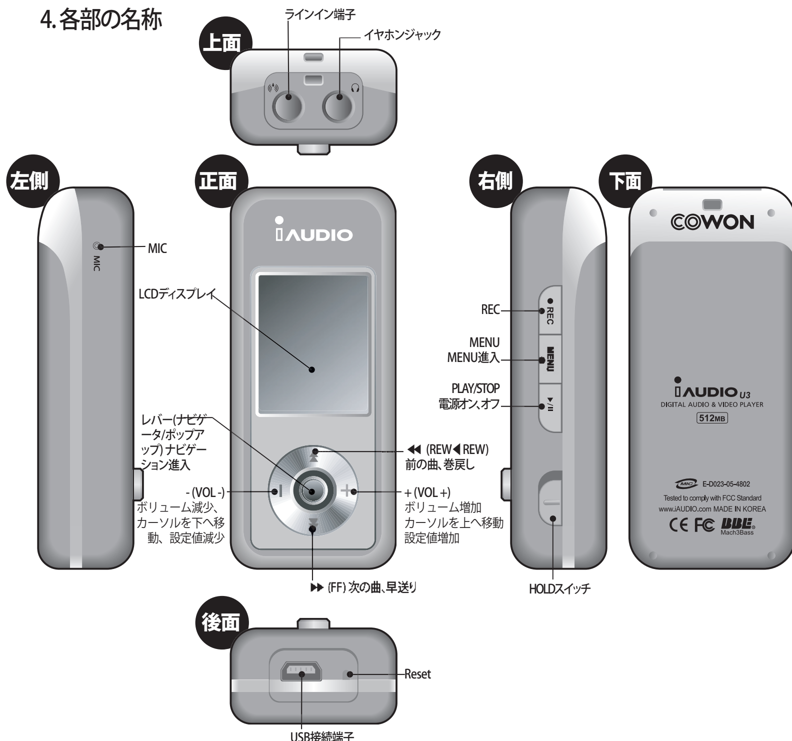
- 本製品はUSB接続ジャックとケーブルで充電できます。
- パッケージの構成に関する図はユーザの理解を助けるためのもので、実際の製品とは異なる場合があります。

3. 機能と仕様

- MP3、OGG、WMA、ASF、FLAC、WAV、MPEG4(動画)再生、FMラジオの聴取と録音、音声録音、ラインイン録音
- TXT(テキスト)、JPEG(イメージ)ファイルビューア(イメージ拡大、壁紙指定)
- 基本フラッシュメモリ内蔵(256MB/512MB/1G/2G)
- USB 2.0インターフェース
- 26万カラー1.2インチTFT-LCD、解像度160x128
- 長い再生時間：最長20時間再生(当社テスト基準。ディスプレイの使用に応じて再生時間が短くなることがあります。)
- 多国語サポート
- 向上された統合ナビゲータ
- 再生/一時停止、録音/録音中一時停止
- 次の曲/前の曲、早送り/巻戻し、区間無限リピート
- 再開、フェードイン、自動再生機能サポート
- 検索速度、スキップ速度設定
- ボリューム:デジタル40段階
- 多様なEQと音場効果(JetEffect)
  -ユーザ調節が可能な5バンドEQ
  -ノーマル、ロック、ポップ、ジャズ、クラシック、ボーカル、ユーザ
  -BBE、Mach3Bass、MP Enhance、3D Surround
- 時計、アラーム、予約録音、スリープ予約、省電力終了
- 画面自動オフ時間調節
- 簡単なファームウェアのダウンロードとアップグレード
- ID3 Tag、ファイル名サポート
- 機器情報確認(ファームウェアのバージョン、総容量、空き容量)
- MAC OSおよびLinuxのUSBデータ転送サポート
- ソフトウェア
  -JetShell (ファイル転送、MP3/WAV/WMA/AUDIO CD PLAY)
  -JetAudio VX (統合マルチメディア再生ソフトウェア、音楽/動画変換機能)

ファイルサポート	MP3: MPEG 1/2/2.5 Layer 3, ~320kbps, ~48khz, mono/stereo WMA: ~256kbps, ~48khz, mono/stereo OGG: ~q10, ~44.1khz, mono/stereo FLAC: compression level 0/1/2, ~44.1khz, mono/stereo WAV: ~48khz, 16bit, mono/stereo XviD MPEG-4, CBR ~256kbps, up to 160x128, 15 fps JPEG
メモリ	512MB/1G/2G
コンピュータインターフェース	USB 2.0
ファイル転送速度	最大Mbps(アップロードMbps)
電源	内蔵リチウムポリマー充電池(最長20時間再生。当社テスト環境基準)
充電時間	約3時間
ボタン	5方向ジョグレバー(NAVI、VOL+、VOL-、REW、FF)、REC、MENU、PLAY、HOLDスイッチ
表示	160 x 128 dot、260,000カラーTFT-LCD
SNR	95dB
出力	16 Ohmイヤホン：30mW + 30mW
出力周波数	20Hz ~ 20KHz
寸法	31.5 X 72.0 X 18.0 mm (幅x高さx奥行、突出部を除く。)
重量	32.5g (リチウムポリマー充電池を含む)

4. 各部の名称


上面
ラインイン端子
イヤホンジャック
左側
MIC
MIC
正面
iAUDIO
LCDディスプレイ
レバー(ナビゲータ/ポップアップ) ナビゲーション進入
◀◀ (REW◀REW) 前の曲、巻戻し
- (VOL -) ボリューム減少、カーソルを下へ移動、設定値減少
+ (VOL +) ボリューム増加 カーソルを上へ移動 設定値増加
▶▶ (FF) 次の曲、早送り
右側
REC
MENU MENU進入
PLAY/STOP 電源オン、オフ
HOLDスイッチ
下面
COWON
iAUDIO U3
DIGITAL AUDIO & VIDEO PLAYER
512MB
E-D023-05-4802
Tested to comply with FCC Standard
www.iAUDIO.com MADE IN KOREA
Mach3Bass
後面
Reset
USB接続端子

5. ディスプレイ

再生モード
区間リピート
現在時刻
歌手名
アルバム名
曲名
進行バー
再生時間
BIT RATE
SAMPLING RATE
5バンドEQ
JetEffect
(BBE, M3B, 3D, MP)
Boundary
Hold
バッテリの残量
現在のトラック
/全体トラック
全体時間
音量



バッテリの残量アイコンは、バッテリの使用可能時間を表示します。バッテリの消耗に応じて残量のサイズが減ります。一部のバッテリ/充電池の場合、残量を測定(センシング)するとき、残量アイコンが不規則に増減することがありますが、これは正常な現象です。

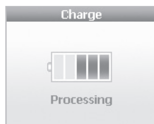


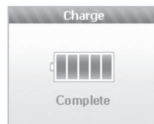
バッテリの残量がほぼなくなると、アイコンが点滅を始めます。点滅を始めてから約30分間動作した後、自動的に電源が切れます。

6. 電源接続と充電



iAUDIO U3を充電するには、USBケーブルでコンピュータに接続するか、ACアダプタを接続します。



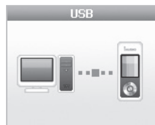


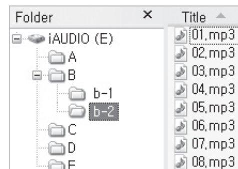
1. ACアダプタをコンセントと本体のUSB端子に接続します。
2. 自動的に電源が入いると同時に充電が始まります。
3. 充電が完了すると、画面に上図のように表示されます。

- 初めての使用または長期間放置した後使用する場合は、必ずACアダプタで十分充電してから使用してください。
- 安全な使用のために必ず正常なACアダプタだけを使用してください。
- ACアダプタは110/220V共用で、別売です。

7. コンピュータへの接続と充電







1. 付属のUSBケーブルでUSB端子とコンピュータを接続します。
2. 正しく接続されたら、画面に上図のように表示されると同時に充電が行われます。
3. Windowsエクスプローラで新しく追加されたドライブを確認できます。

- 初めての使用または長期間放置した後使用する場合は、コンピュータに接続して十分充電してから使用してください。
- Windows 98、98 SEでは別途のドライバのインストールが必要です。
- 本製品が認識できる最大フォルダ数は100個で、最大ファイル数は1000個です。

8. Windows 98ドライバのインストール

Windows 98および98 SEを使用する場合、最初にコンピュータと接続するとき別途のドライバのインストールが必要です。
*Windows 2000以上はコンピュータで自動でiAUDIOを認識します。

■ ドライバのインストール方法



1. USBケーブルで製品をコンピュータに接続します。



2.「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示されたら、「次へ」をクリックします。



3.「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ」をクリックします。



4.「検索場所の指定(L)」を選択し、「参照」ボタンをクリックします。



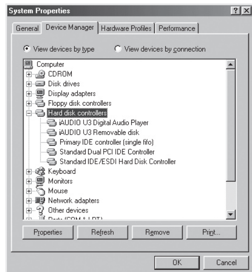
5. CD-ROMドライブ内の「Win98」フォルダを選択した後、「OK」をクリックします。(該当ファイルは当社のホームページ(www.iAUDIO.com)の資料室からもダウンロードできます。)



6. 検索位置が指定されたら「次へ」をクリックします。



7.引き続き「次へ」をクリックします。



8.「完了」をクリックすると、ドライバのインストールが完了します。デバイスマネージャまたはWindowsエクスプローラで新しく追加されたドライブを確認できます。

9.ファイルの保存と取り外し

1. iAUDIO U3をコンピュータに接続した状態でWindowsエクスプローラまたはJetShellを実行します。

2. コンピュータにある音楽ファイルや画像ファイル、エンコードされた動画ファイル、その他iAUDIO U3で使用するファイルをiAUDIOドライブへ転送(コピー)します。

3. ファイルの保存が終わったらコンピュータのトレイに表示されたアイコンをクリックします。

4. 次のようなポップアップメッセージが表示されたらクリックします。

Removing USB Mas s storage device - Drive (E:)

5. 「ハードウェアの取り外し」メッセージが表示されたらUSBケーブルを取り外します。



- マイコンピュータまたはWindowsエクスプローラでiAUDIOドライブが見えない場合は、コンピュータとの接続状態とセッティングを確認してから再度接続を行ってください。(*Windows 98の場合はドライバのインストールが必要です。)
- JetShellの使用方法については付属のCDに収録しているJetShellのマニュアルをご覧ください。
- Windows 98、98 SEではハードウェアの取り外しアイコンが表示されないことがあります。そのときは転送ウィンドウが閉じることを確認した後、ケーブルを取り外してください。
- 次のメッセージが表示されても製品に異常があることではありません。しばらくしてからハードウェアの安全な取り外しを実行してください。

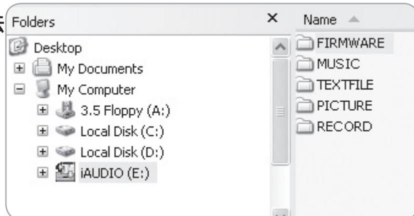


10.ファームウェア(Firmware)のアップグレード

ファームウェアはハードウェアに内蔵されているプログラムで、アップグレードによって製品の機能を向上させたり、バグを修正することができます。
ファームウェアを通じて性能やメニューが予告なしに変更されることがあり、一部のベータ版ファームウェアでは、正式版ファームウェアで修正する予定の、多少微細な誤動作が発生することがあります。

■ ファームウェアのアップグレード方法





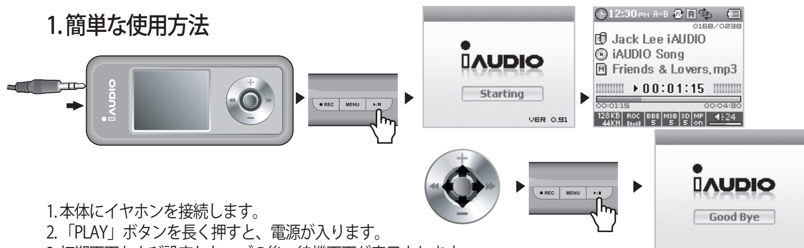




1. USBケーブルで製品をコンピュータに接続します。
2. 当社のホームページ(www.iAUDIO.com)の資料室から最新のファームウェアファイルをダウンロードします。
3. ダウンロードしたファイルを解凍し、U3の一番上位のフォルダ(Root)にファイルをコピーします。
4.正常にコンピュータから製品を取り外し、電源がオフになったことを確認します。
5. 「PLAY」ボタンを押して電源を入れると、自動でファームウェアのアップグレードが行われます。
6. 正常にファームウェアのアップグレードが終わったら、新しいファームウェアで再スタートします。

- ファームウェアのバージョンは「メニュ - 設定 - 情報」で確認できます。
- ファームウェアのアップグレードの時、メモリに保存されているデータが削除される可能性がありますので、必ずコンピュータにバックアップしてから、ファームウェアのアップグレードを行ってください。
- ファームウェアのアップグレード方法は後で変更されることがあります。詳しくは当社のホームページ(www.iAUDIO.com)をご覧ください。

1. 簡単な使用方法



1. 本体にイヤホンを接続します。
2. 「PLAY」ボタンを長く押すと、電源が入ります。
3. 初期画面および設定したロゴの後、待機画面が表示されます。
   (設定によって自動的に再生させることもできます。)
4. 「PLAY」ボタンをもう一度押すと、音楽を再生します。
5. レバーを左右に動かすと、他の曲を再生することができます。上下に動かすと、ボリュームを調節できます。
6. 「PLAY」ボタンを再び長く押すと、電源が切れます。

2. モードの切り替えのための基本操作

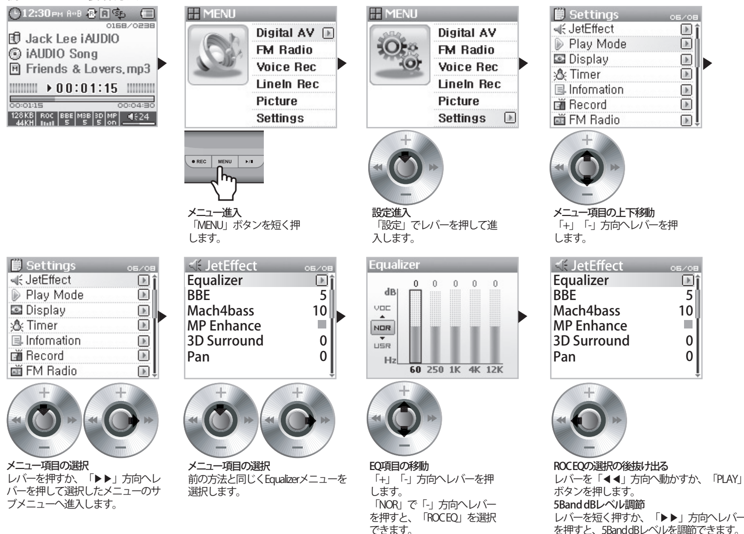
例:MP3プレーヤモードからFMラジオモードへ切り替える場合の操作方法



5つのモード(デジタルAV、FMラジオ、音声録音、ラインイン録音、写真)があります。
それぞれのモードから他のモードへ切り替えるには、「MENU」ボタンを押した後、希望するモードを選択してください。
メニュー画面が表示されたら、「+」「-」方向へレバーを押して希望するモードへ移動します。
希望するモードへ移動した後、レバーを押すか、「PLAY」ボタンまたは「▶▶」方向へレバーを押すと、該当モードに切り替えられます。
モードの切り替え画面で作業をキャンセルし、元のモードに戻すには、「◀◀」方向へレバーを押すか、「REC」ボタンを押してください。

3. 設定のための基本操作

例:JetEffectのEQ操作方法



メニュー進入
「MENU」ボタンを短く押します。

設定進入
「設定」でレバーを押して進入します。

メニュー項目の上下移動
「+」「-」方向へレバーを押します。

メニュー項目の選択
レバーを押すか、「▶▶」方向へレバーを押して選択したメニューのサブメニューへ進入します。

メニュー項目の選択
前の方法と同じくEqualizerメニューを選択します。

EQ項目の移動
「+」「-」方向へレバーを押します。
「NOR」で「-」方向へレバーを押すと、「ROC EQ」を選択できます。

ROC EQの選択の後抜け出る
レバーを「◀◀」方向へ動かすか、「PLAY」ボタンを押します。
5Band dBレベル調節
レバーを短く押すか、「▶▶」方向へレバーを押すと、5Band dBレベルを調節できます。

■ 項目の移動

- 「MENU」ボタンを押してモード選択画面が表示されたら、「+」「-」方向へレバーを押して「設定」へ移動します。
- 選択したメニューへの移動および選択のためには、レバーを押すか、「▶▶」方向へレバーを押します。
- 上位のメニューへ移動するには、「◀◀」方向へレバーを押します。(初期メニュー画面の場合はモード画面へ戻ります。)

■ **項目の値の調節**

•項目の場合、その項目を設定できるポップアップウィンドウが表示されます。

•「+」「-」方向へレバーを押して希望する値に調節します。

•項目を選択するにはレバーを押します。調節した値は直ちに反映されます。

•設定の完了後、前のモードに戻るには「PLAY」ボタンを押します。

■ **項目の設定をキャンセルし、画面を閉じる**

•「REC」ボタンを押すと、現在設定中だった項目の値をキャンセルし、モード画面へ戻ります。

■ **Equalizerメニュー項目の設定**

•Equalizerメニュー項目へ進入します。

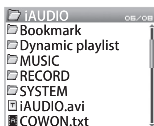
•「+」「-」方向へレバーを押し、設定されているEQを選択できます。

•「▶▶」方向へレバーを押し、EQの各バンドを選択できます。

•選択したバンドで「+」「-」方向へレバーを押し、バンドのdBレベルを調整できます。(-12dB ~ 12dB)

•「◀◀」方向へレバーを押して上位メニューへ移動するか、「PLAY」ボタンを押してEQ設定を完了します。

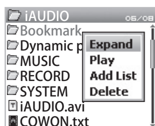
4. ナビゲータの使用のための基本操作





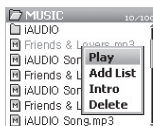
ナビゲータ進入
レバーを短く押してナビゲータ画面へ進入します。

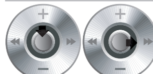
ナビゲータ項目の上下移動
「+」「-」方向へレバーを押します。





ナビゲータ項目の選択
フォルダを選択して開く場合、レバーを押してポップアップを表示させ「拡張」を選択します。または、「▶▶」方向へレバーを押すと、ポップアップなしにすぐフォルダの中に入れます。





選択したファイルの再生
「PLAY」ボタンを押すか、レバーを押してポップアップを表示させた後、「再生」を選択すると、デジタルAVモードに変わり、選択したファイルを再生します。
「▶▶」方向へレバーを短く押すと、ナビゲータ状態で選択したファイルが再生されます。

■ **ナビゲータ画面を開く**

•ナビゲータ画面へ進入するには、レバーを短く押します。

•デジタルAV、音声録音、ラインイン録音、写真モードの場合、ハードディスク内のフォルダやファイルを検索するためのナビゲータが開かれます。

•FMラジオモードでは、周波数プリセット(Preset)値を検索して設定するためのナビゲータが開かれます。

■ ナビゲータ項目の移動

- ナビゲータ項目の上下移動のためには「+」「-」方向へレバーを押します。
- 下位フォルダへの移動(進入)のためには「PLAY」ボタンを押すか、「▶▶」方向へレバーを押します。
- 上位フォルダへの移動のためには「◀◀」方向へレバーを押します。(最上位フォルダの場合、ナビゲータが閉じ、元のモード画面へ戻ります。)

■ ナビゲータ項目の選択

- 選択したファイル項目に対して、「PLAY」ボタンまたは「▶▶」方向へレバーを動かすと、そのファイルを再生します。
- 選択したフォルダ項目に対して、「PLAY」ボタンまたは「▶▶」方向へレバーを動かすと、そのフォルダへ進入します。

■ ナビゲータのポップアップウィンドウ

- ナビゲータ状態でレバーを押すと、フォルダ、ファイル、ダイナミックプレイリストのファイル、ラジオモードに応じて適切なポップアップウィンドウが表示されます。
- 「+」「-」方向へレバーを押して希望する項目へ移動します。
- 「PLAY」ボタンを押すか、「▶▶」方向へレバーを押し、項目を選択します。
- 「REC」ボタンを押すと、ポップアップウィンドウが閉じます。

項目	ポップアップの内容
マルチメディアファイル	再生、リストに追加、イントロ再生、削除
一般フォルダ	拡張、再生、リストに追加、削除
ダイナミックプレイリストのファイル	再生、削除、すべて削除
Book Markのファイル	再生、削除、すべて削除
ラジオモードナビゲータ	チャンネルを聞く、保存、チャンネル削除
イメージファイル	ビュー、壁紙、スライドショー

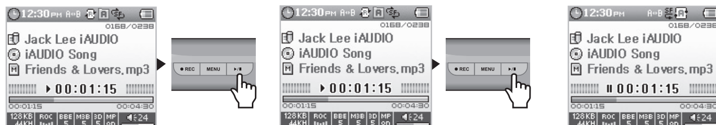
■ ナビゲータを閉じる

- 「REC」ボタンを押すと、ナビゲータ画面を閉じ、元の画面へ戻ります。

1. デジタルAVモード(マルチメディアファイルとテキストビューアの実行)

デジタルAVモードは、保存している音楽ファイルと動画ファイルを再生するか、保存している文書ファイルを見るとき使うモードです。

■ マルチメディアファイルの再生



1. 電源を入れると、初期画面とロゴ画面の後、基本情報の表示された待機画面が表示されます。
2. 「PLAY」ボタンを押し、音楽ファイルまたはエンコードされた動画ファイルを再生します。
3. 再生途中「PLAY」ボタンを押すと、再生を一時停止します。
4. 再生途中レバーを左右の方向へ短く押すと、他の曲を再生できます。
5. 再生途中レバーを左右の方向へ長く押すと、曲を検索できます。

- 自動再生が設定されている場合、画面が表示されると同時にファイルを再生します。
- 再開が設定されている場合、前回の続きから再生します。
- 「+」「-」方向へレバーを動かし、ボリュームを調節できます。
- 再生中に表示される曲の情報は「画面 – タイトル」の設定に従います。
- 保存されたファイルが多い場合、画面の表示まで時間が多少長くかかることがありますが、製品に異常があるのではありません。
- デジタルAVモードで認識可能な最大フォルダ数は100個、最大ファイル数は1000個(再生可能な音楽ファイルと動画ファイルにだけ当たります。それ以外のファイルには制限がありません。)です。
- JetAudio VXで変換していない動画の場合、正常な動作を保障しません。

■ テキストビューアの実行



1. USBケーブルでiAUDIOをコンピュータに接続します。
2. iAUDIOで見たいテキストファイルを転送(コピー)します。
3. iAUDIOをコンピュータから取り外します。
4. 電源を入れた後、ナビゲータでiAUDIOに保存されたテキストファイルを選択すると、テキストファイルを見ることができます。
5. 「+」「-」方向へレバーを動かすと一行ずつ移動し、◀◀,▶▶方向へレバーを動かすと一ページずつ移動します。
6. 特定の位置へ移動するには、レバーを押して移動する位置を指定した後、再びレバーを押します。
7. テキストビューアモードから出るには、「REC」ボタンを押します。

- 音楽を聴く途中でもテキストファイルを見ることができます。
- テキストファイルは最大240KBまで認識できます。

■ 区間リピートの設定

区間リピートとは、ユーザが繰り返して聴きたい部分を設定し、選択した範囲内で再生をする機能です。



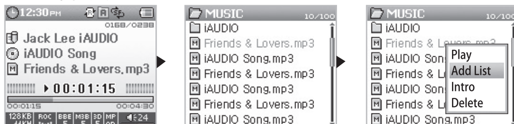
1. デジタルAVモードで音楽ファイルの再生途中、区間リピートを設定したい部分で「REC」ボタンを押すと、上のステータスバーに「A◀▶」アイコンが表示されます。
2. 区間リピートを終えたい部分で「REC」ボタンを押すと、「A◀▶ B」アイコンに変わり、該当区間を繰り返して再生します。
3. 区間リピートを解除するには、「REC」ボタンをもう一度押します。

- 最小1秒以上区間を設定しなければなりません。
- 区間リピートの設定中他の曲を選択したり検索したりしても区間リピートが解除されます。
- 区間リピートは音楽ファイルでだけ有効で、エンコードされた動画ファイルでは区間リピートができません。

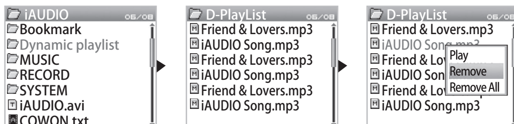
■ ダイナミックプレイリスト(以下、DPL)の設定

聴きたい曲だけを簡単にリストに作成して聴ける機能です。
iAUDIO U3には「Dynamic playlist」という特殊フォルダが存在し、そのフォルダはコンピュータでは確認できません。
聴きたい曲だけを追加/削除し、「Dynamic playlist」フォルダへ進入し、聴くことができます。

■ DPLに曲を追加



■ DPLから曲を削除



1. DPLに曲を追加するには、ナビゲータで曲やフォルダを選択し、レバーを押してポップアップウィンドウを表示させ、「リストに追加」を選択します。
2. DPLの曲を削除するには、「Dynamic playlist」フォルダから削除したい曲を選択し、レバーを押してポップアップウィンドウを表示させ、「削除」を選択します。

- フォルダを「リストに追加」で追加すると、フォルダ内の全ての曲がDPLに追加されます。
- 再生画面でレバーを長く押してポップアップウィンドウを表示させ、「DPL」を選択すると、直ちにDPLに追加と削除ができます。
- 「MENU」ボタンと「REC」ボタンに対して、DPLへの曲の追加機能を設定できます。この場合AVファイルが再生されている状態で、該当ボタンを長く押すと、「Added to DPL」というメッセージが表示され、DPLに曲が追加されます。(DPLモードでは「Removed from DPL」というメッセージとともに追加した曲が削除されます。)
- 「Dynamic playlist」からすべての曲を削除するには、レバーを押してポップアップウィンドを表示させ、「すべて削除」を選択します。
- 「Dynamic playlist」からの曲の削除は、単なるリンクの削除を意味するものであり、該当ファイルを本当に削除したいときは、そのファイルでレバーを押してポップアップウィンドウを表示させた後、「削除」を選択します。
- DPLに設定されている曲を削除するかコンピュータに接続すると保存されているDPLは自動的に削除されます。
- DPLに追加可能な最大ファイル数は100個です。

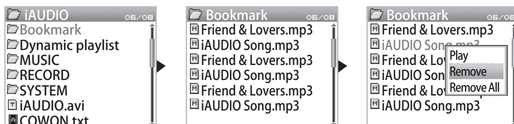
■ ブックマーク(Book Mark)の設定

ブックマーク機能は希望する曲のスタート地点を設定する機能です。
iAUDIO U3には「Book Mark」という特殊フォルダが存在し、そのフォルダはコンピュータでは確認できません。
希望するファイルの希望する位置でブックマーク設定をすると、いつでもその位置でファイルの再生ができます。

■ Bookmarkに曲を追加



■ Bookmarkから曲を削除



1. 音楽ファイルが再生されている状態で、レバーを長く押すと、ポップアップウィンドウが表示されます。
2. Book Mark項目へ移動した後、レバーを押すと、その地点でブックマークが設定されます。
3. すでにBook Markが設定されているファイルの場合、該当の地点へブックマークが変更されます。
4. ブックマーク設定のファイルを再生するには、「Book Mark」フォルダで該当ファイルを選択すればいいです。
5. ブックマーク設定の曲を削除するには、「Book Mark」フォルダから削除したい曲のポップアップウィンドウを表示させ、「削除」を選択します。

- 「PLAY」ボタンと「REC」ボタンに対して、ブックマーク追加機能を設定できます。この場合、音楽ファイルが再生されている状態で、該当ボタンを長く押すと、「Added to Book Mark」というメッセージが表示され、ブックマークに曲が追加されます。
- 「Book Mark」からすべての曲を削除するには、レバーを押してポップアップウィンドを表示させ、「すべて削除」を選択します。
- 「Book Mark」からの曲の削除は、単なるリンクの削除を意味するものであり、該当ファイルを本当に削除したいときは、そのファイルでレバーを押してポップアップウィンドウを表示させた後、「削除」を選択します。
- ブックマークに設定されている曲を削除すると、保存されているブックマークは自動で削除されます。
- Book Markに入っている曲を削除するかコンピュータに接続すると保存されているBook Markは自動的に削除されます。
- 動画ファイルの場合はブックマークをサポートしません。

2. FMラジオモード(FMラジオを聴く)

FMラジオモードは、周波数を利用してラジオ放送を聴けるモードです。

■ FMラジオを聴く





1. 電源を入れた後、FMラジオモードへ移動します。
2. レバーを「◀◀」「▶▶」方向へ短く押すと、0.1Khzずつ移動します。
3. レバーを「◀◀」「▶▶」方向へ長く押すと、自動で受信率のいいチャンネルを検索します。

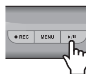
- 電源を切るを前にラジオを聴いていたなら、別途のモード変更なしに、電源を入れると同時にラジオモードが実行されます。

■ プリセット(Preset)の設定

好んで聴く周波数だけを入力しておくことで、別途の検索なしにその周波数を選択できます。

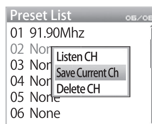












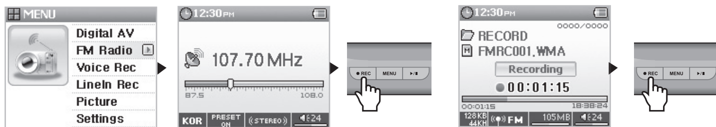




1. 電源を入れた後、FMラジオモードへ移動します。
2. よく聴く周波数を選択した後、「PLAY」ボタンを押すと、下のステータスバーに「PRESET ON」と表示され、プリセットモードとなります。
3. レバーを押してナビゲータモードへ移動します。
4. 入力したい周波数のチャンネルへ「+」「-」方向へレバーを動かして移動した後、レバーを押してポップアップウィンドウを表示させせます。
5. 「現在のチャンネルを保存」を選択すると、指定したチャンネルの周波数が入力されます。
6. 「チャンネルを聞く」ですでに入力されている周波数を聴くか、「チャンネル削除」で不要な周波数を削除することができます。
7. プリセットモード状態で再び「PLAY」ボタンを押すと、PRESET OFFとなり、◀◀, ▶▶方向で検索が可能な一般モードに切り替えられます。

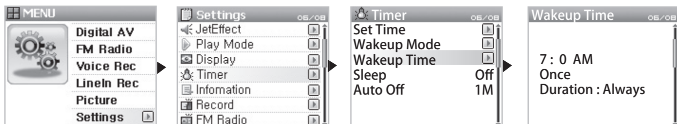
- プリセットモードに入力された周波数がないと、周波数の移動と検索はできません。
- プリセットは最大24個まで保存が可能です。

■ FMラジオの録音



1. 電源を入れた後、FMラジオモードへ移動します。
2. 録音したい周波数へ移動します。
3. 録音を始めたい時点で「REC」ボタンを長く押すと、録音が始まります。
4. もう一度「REC」ボタンを押すと、録音が終了します。

■ FMラジオの予約録音

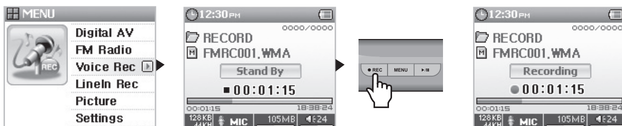


1.「4)メニュー別の詳細機能説明 - 6.タイマ」を参考してiAUDIOの時刻設定を行います。
2.「4)メニュー別の詳細機能説明 - 6.タイマ」を参考してアラームモードでFM録音を選択します。
3.「4)メニュー別の詳細機能説明 - 6.タイマ」を参考してアラーム時刻で予約録音を行いたい時刻を設定します。
4. 設定した時刻になると、製品に自動的に電源が入り、指定した設定に従って録音が始まります。

- 該当録音ファイルは最上位フォルダの「RECORD」で確認できます。
- 録音のときは普段より多くバッテリを消耗しますので、録音の前に十分充電してください。
- 録音の品質と容量は、周波数状態以外には録音品質設定に従います。「4)メニュー別の詳細機能説明 - 8.録音」をご覧ください。
Features by Menu - 8 See the Recording section.

3. 音声録音モード(内蔵マイクによる音声録音)

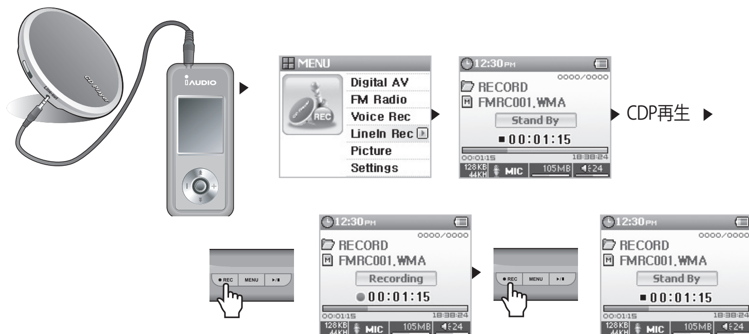
音声録音モードは内蔵のマイクを利用して音声録音を行える機能です。



1. 電源を入れた後、音声録音モードへ移動します。
2.「REC」ボタンを押すと、録音が始まります。
3. もう一度「REC」ボタンを押すと、録音が終了します。
4. 録音したファイルを再生するには、「PLAY」ボタンを押します。

4. ラインイン録音モード(ラインインケーブルによる録音)

ラインイン録音モードは、付属のラインインケーブルを利用して他の音響機器から出る音を録音する機能です。



1. ラインインケーブルを利用してCDPのヘッドホン端子とiAUDIOのラインイン(Line-in)端子を接続します。
2. 電源を入れた後、ラインイン録音モードへ移動します。
3. CDPの再生ボタンを押し、iAUDIOの「REC」ボタンを押すと、録音が始まります。
4. 録音途中「PLAY」ボタンを押すと一時停止され、もう一度押すと録音を続けます。
5. 「REC」ボタンをもう一度押すと、録音が終了します。
6. 録音したファイルを聴くには、イヤホンを接続した後「PLAY」ボタンを押します。

- 録音ファイルは最上位フォルダの「RECORD」(音声録音は「VOICE」)で確認できます。
- 検索などの機能を利用して録音ファイルを再生するには、デジタルAVモードのナビゲータで該当ファイルを実行すればいいです。
- 電源を切る前に録音モードだったなら、別途のモード変更なしに、電源を入れると同時に該当録音モードが実行されます。
- 録音のときは普段より多くバッテリを消耗しますので、録音の前に十分充電してください。
- 録音の品質と容量は録音品質設定に従います。「4)メニュー別の詳細機能説明 - 8.録音」をご覧ください。

5. 写真モード(イメージを見る)



1. USBケーブルでiAUDIOをコンピュータに接続します。
2. iAUDIOで見たいイメージファイルを転送(コピー)します。
3. iAUDIOをコンピュータから取り外します。
4. 電源を入れた後、写真モードへ移動します。
5. iAUDIO U3の中に保存されているイメージファイルを見られます。
6. 「+」「-」へレバーを動かすと拡大または縮小され、「◀◀」「▶▶」へレバーを動かすと前のイメージ/次のイメージを見られます。
7. 「PLAY」ボタンを押すと、9枚のサムネイルイメージが表示され、スピード検索ができます。
8. レバーを短く押すとナビゲータが表示され、イメージファイルを選択した後レバーを押すと、ポップアップウィンドウが表示されます。
9. 「ビュー」を選択すると、該当イメージを見ることができます。「壁紙」を選択すると、該当イメージを壁紙に設定できます。
   4. 「4)メニュー別の詳細機能説明 - 5.画面」の壁紙の設定を参考にしてください。
10. 電源を切るか、イメージを見る状態でレバーを長く押して他のモードへ進入すると、写真モードから抜け出ることができます。

- JPG(Progressive Typeを除く)以外のイメージフォーマットはサポートしません。
- イメージファイルの容量が大きいほどビューのとき時間が多くかかります。

6. ボタンの使用方法(各モードの簡単なボタン使用方法と要約表)

■ ナビゲータ(Navigator)モード

キー		動作	ファイル選択時	フォルダ選択時
Play	▶/II	●	選択したファイルの再生のあと再生モードへ変更	選択したフォルダへの進入
		▬	電源オフ	電源オフ
FF		●	選択したファイルの再生とナビゲータモードの維持	選択したフォルダへの進入
REW		●	上位フォルダへ移動	上位フォルダへ移動
+			フォーカスを上へ移動	フォーカスを上へ移動
-			フォーカスを下へ移動	フォーカスを下へ移動
LEVER			ポップアップメニュー	ポップアップメニュー
REC/A↔B	● REC	●	再生モードへ変更	再生モードへ変更

キー動作で ● は短く押す場合を意味し、 ▬ は1秒以上長く押す場合を意味します。

■ デジタルAVモード

キー		動作	停止時	再生時
Play	▶/II	●	現在のファイルを再生	現在のファイルの再生を停止
		▬	電源オフ	電源オフ
FF		●	次のファイルへ切り替える	スキップ設定に従ってトラック移動または5sec、10sec移動
		▬	次のファイルへ切り替える	高速前進
REW		●	前のファイルへ切り替える	スキップ設定に従ってトラック移動または5sec、10sec移動
		▬	前のファイルへ切り替える	高速後進
+			ボリューム増加	ボリューム増加
-		●	ボリューム減少	ボリューム減少
LEVER		▬	ナビゲータへ進入	ナビゲータへ進入
		●	ポップアップメニュー	ポップアップメニュー
MENU	MENU	▬	モード選択メニュー	モード選択メニュー
		●	設定値の実行	設定値の実行
REC/A↔B	● REC	▬	区間リピートの設定と解除	区間リピートの設定と解除
			設定値の実行	設定値の実行

キー動作で ● は短く押す場合を意味し、▬ は1秒以上長く押す場合を意味します。

■ FMラジオモード

キー		動作	聴取時	プリセットモード時
Play	▶/II	●	プリセットモードへ切り替える	一般モードへ切り替える
FF		●	周波数増加	次のプリセットへ移動
		▬	次の放送を自動検索	次のプリセットへ移動
REW		●	周波数減少	前のプリセットへ移動
		▬	前の放送を自動検索	前のプリセットへ移動
+			ボリューム増加	ボリューム増加
-			ボリューム減少	ボリューム減少
LEVER		●	プリセットモード設定	プリセットモード設定
MENU	MENU	●	モード選択メニュー	モード選択メニュー
REC/A↔B	● REC		録音の開始と終了	録音の開始と終了

キー動作で ● は短く押す場合を意味し、▬ は1秒以上長く押す場合を意味します。

■ 音声録音/ラインイン録音モード

キー		動作	停止時	録音時
Play	▶/II	●	録音ファイルを再生	一時停止または引き続き録音
		▬	電源オフ	
+			ボリューム増加	
-			ボリューム減少	
LEVER		●	ナビゲータへ進入	
MENU	MENU	●	設定メニュー	
REC/A↔B	● REC	●	録音開始	録音終了
		▬		

キー動作で ● は短く押す場合を意味し、▬ は1秒以上長く押す場合を意味します。

1. メニュー一覧表

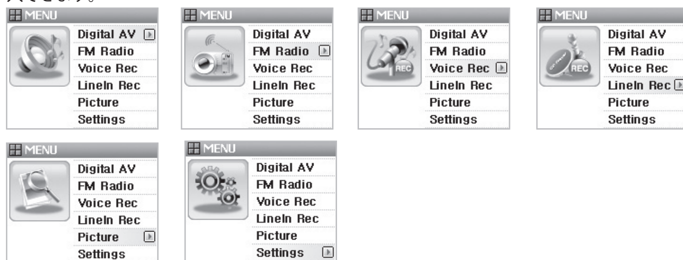
メニュー(Menu)	デジタルAV(Digital AV)	
	FMラジオ(FM Radio)	
	音声録音(Voice Rec)	
	ラインイン録音(LineIn Rec)	
	写真(Picture)	
	設定(Settings) ▸	
JetEffect	Equalizer	
	BBE	
	Mach3Bass	
	MP Enhance	
	3D Surround	
	Pan	
再生モード(Play Mode)	再生領域(Boundary)	
	リピート(Repeat)	
	シャッフル(Shuffle)	
画面(Display)	言語(Language)	
	タイトル(Song Title)	
	再生時間(Play Time)	
	アルバム名のスクロール(Album Scroll)	
	タイトルのスクロール(Title Scroll)	
	壁紙(Wall Paper)	
	ステータスバー(Status Bar)	
	歌詞(Lyrics)	
	スクロール速度(SCSpeed)	
	画面自動オフ(LCD Auto Off)	
	明度(Brightness)	
	画面カラー指定(User Color)	

タイマ(Timer)	時刻設定(Set Time)
	アラームモード(Wakeup Mode)
	アラーム時刻(Wakeup Time)
	スリープ(Sleep)
	自動電源オフ(Auto Off)
一般(General)	スキップ間隔(Skip Length)
	検索速度(Scan Speed)
	再開(Resume)
	自動再生(Auto Play)
	フェードイン(Fade In)
	充電(Charge)
	コントロール(Control)
	デフォルト設定に戻る(Load Default)
録音(Recording)	ラインインBPS(LineIn BPS)
	音声録音BPS(Voice BPS)
	FM BPS
	マイクボリューム(Mic Volume)
	ボイスアクティブ(Voice Activate)
	ラインインボリューム(Line Volume)
	自動シンク(Auto Sync)
	外部マイク(External MIC)
FMラジオ(FM Radio)	ステレオ(Stereo)
	自動検索(Auto Scan)
	地域(Region)
情報(Information)	

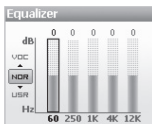
- 設定メニューは今後ファームウェアのアップグレード時に変更されることがあります。
- 設定メニューの言語変更は「3.画面 - 1.言語」で可能です。
- 設定メニューについての操作方法は「2.基本的な使用方法 - 3.設定のための基本操作」をご覧ください。

2. メニュー(Menu)

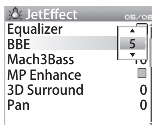
初期画面でデジタルAV、FMラジオ、音声録音、ラインイン録音、写真モードを選択するか、設定へ進入できます。



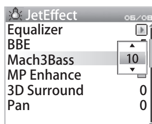
3. JetEffect



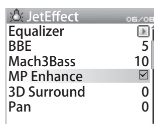
1. Equalizer
すでに設定されているか、またはユーザが自分で5バンドEQを設定できます。ノーマル、ロック、ジャズ、クラシック、ポップ、ボーカル、ユーザEQの中から選択でき、各EQはユーザの好みに応じて編集できます。



2. BBE
BBEとは、音を鮮明にする音場効果です。

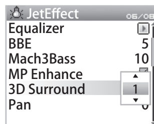


3. Mach3Bass
Mach3Bassは超低域を強調してくれるベース増幅機能です。



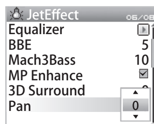
4. MP Enhance

MP Enhanceは損なわれた音を補正してくれる音場効果です。



5. 3D Surround

3D Surroundは3次元立体音響効果を提供します。

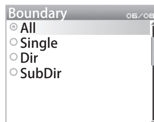


6. パン(Pan)

パン(Pan)は左右の音量のバランスを調節する機能です。

- 過度なJetEffect設定は音の歪みやノイズをもたらすおそれがあります。
- JetEffectについて詳しい内容は、ホームページ(www.iAUDIO.com)のBBE MPをご覧ください。

4. 再生モード(Play Mode)



1. 再生領域(Boundary)

ファイルやフォルダなどに対して再生領域を設定する機能で、様々な形で再生範囲を設定できます。再生範囲には録音されたMP3ファイルは含まれません。

● すべてのファイル(All)：フォルダに関係なくすべてのトラックを再生します。

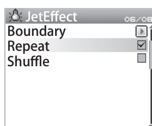
● 一曲(Single)：1曲だけを再生します。

● フォルダ(Dir)：現在選択されているフォルダ内のファイルだけを再生します。

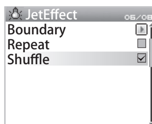
● サブフォルダを含む(SubDir)：現在選択されているフォルダのサブフォルダまで含めて再生します。

DPL、Book Markの曲を再生する場合、自動的に該当リストが再生領域に設定されます。

DPL、Book Markの曲を再生する途中一般フォルダの曲を再生すると、自動的に前の再生領域へ戻ります。



2. リピート(Repeat)
- 再生領域で指定した範囲内でリピート再生について設定できます。
- 設定する場合、繰り返して再生され、再生領域がすべてのファイルのときは、すべての曲の再生が完了した時点で再び繰り返して再生されます。

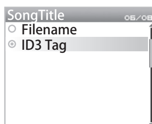


3. シャッフル(Shuffle)
- 再生領域で指定した範囲内でランダムに再生するかを設定できます。
- 設定する場合、次の曲がランダムに選択され再生されます。

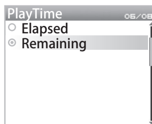
5. 画面(Display)



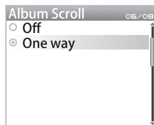
1. 言語(Language)
- iAUDIO U3で使用する設定メニューの言語を設定できます。



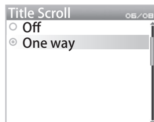
2. タイトル(Song Title)
- ディスプレイに表示されるタイトルをどう表示するかについて設定できます。
- ファイル名の場合は、保存されたファイル名がそのまま表示され、ID3タグの場合は、ファイル内のID3タグが表示されます。



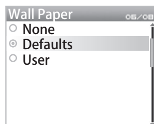
3. 再生時間(Play Time)
- 再生されるトラックの時間情報の表示について設定できます。
- 「再生した時間」は経過した再生時間を、「残りの時間」はまだ残っている再生時間を表示します。



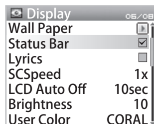
4. アルバム名のスクロール(Album Scroll)
- ディスプレイに表示されるアルバム名のスクロール方式について設定できます。
- 「OFF」の場合はスクロールされなく、「ワンウェー」の場合は左へ文字がスクロールされます。



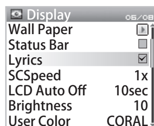
5. タイトルのスクロール(Title Scroll)
- ディスプレイに表示されるタイトルのスクロール方式について設定できます。
- 「OFF」の場合はスクロールされなく、「ワンウェー」の場合は左へ文字がスクロールされます。



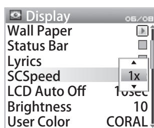
6. 壁紙(Wall Paper)
- デジタルAVモードの壁紙について設定できます。
- 「なし」の場合は壁紙が表示されなく、「デフォルト設定」の場合はデフォルトで設定された画面が表示されます。
- 「ユーザ定義設定」の場合は、写真モードで壁紙に設定したファイルが表示されます。



7. ステータスバー(Status Bar)
- ステータスバーの表示可否について設定できます。
- 設定しないと、上下のステータスバーが隠され、画面をもっと広く使用できます。

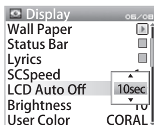


8. 歌詞(Lyrics)
- 歌詞が入力されている音楽ファイルの歌詞の表示について設定できます。
- 設定する場合、再生のとき音楽ファイルの歌詞が表示されます。
- 設定した場合でも歌詞が入力されていない音楽ファイルの場合は歌詞が表示されません。
- 歌詞の入力についてはホームページ(www.iAUDIO.com)の初心者ガイドのLDBマネージャの使用方法をご覧ください。



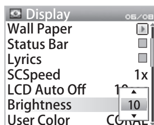
9. スクロール速度(SCSpeed)

- ディスプレイに表示される文字のスクロール速度について設定できます。
- 倍速で表示され、数字が大きいほどスクロールの速度が速くなります。



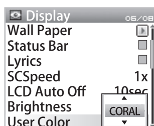
10. 画面自動オフ(LCD Auto Off)

- ディスプレイがオンになっている時間を設定できます。
- 設定した時間の間何の操作もないとディスプレイがオフになります。



11. 明度(Brightness)

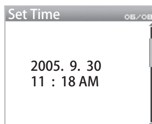
- ディスプレイの明度を設定できます。



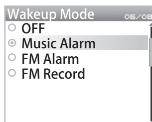
12. 画面カラー指定(User Color)

- 画面の全体的な色を変更できます。

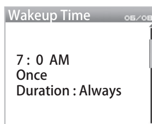
6. タイマ(Timer)



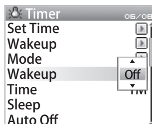
1. 時刻設定(Set Time)
- 現在の時刻を設定する機能です。
- アラームと予約録音のために、時刻を正確に設定してください。



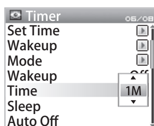
2. アラームモード(Wakeup Mode)
- 「アラーム時刻」で設定した時刻になると、自動で電源が入る機能です。
- 「音楽アラーム」の場合は音楽が再生され、「FMアラーム」の場合は最後に聴いた周波数でラジオモードが実行されます。
- 「FM録音」の場合は、設定した時刻から指定した時間の間、最後に聴いた周波数のラジオを録音します。
- FM予約録音のときは普段より多く電力を消費しますので、電源が十分か確認してください。



3. アラーム時刻(Wakeup Time)
- 自動で電源が入る時刻を設定できます。
- 「Once」の場合はアラームが一回だけ発生し、「Daily」の場合は毎日アラームが発生します。
- 「Duration」はアラームの持続時間を意味し、設定した持続時間が経過すると、自動でアラームが停止します。



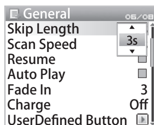
4. スリープ(Sleep)
- 設定した時間に合わせて自動で電源を切る機能です。
- 設定した時間が過ぎると、ファイルを再生している途中でも自動で電源が切れます。



5. 自動電源オフ(Auto Off)

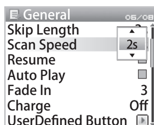
- iAUDIOの動作が停止している状態で、設定した時間の間何の操作もないと、自動で電源が切れる機能です。
- 再生中には動作しません。

7. 一般(General)



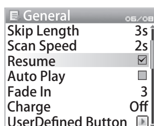
1. スキップ間隔(Skip Length)

- ◀◀, ▶▶ レバーを短く押したとき、一度にスキップする時間を設定する機能です。



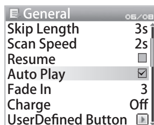
2. 検索速度(Scan Speed)

- ◀◀, ▶▶ レバーを長く押したとき、すなわち早送り/巻戻しの速度を設定する機能です。
- 倍速が速いほど速く検索できます。



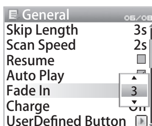
3. 再開(Resume)

- 最後に再生した音楽ファイルの位置を記憶する機能です。
- 自動再生設定ができている場合、最後に再生したときの続きから自動で再生します。



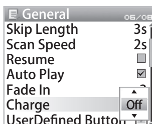
4. 自動再生(Auto Play)

- 電源を入れた後自動で再生される機能です。
- 設定する場合、電源が入ると、最後に聴いた曲から自動で再生します。
- 再開設定ができている場合、最後に聴いた曲の続きから自動で再生します。



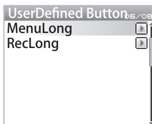
5. フェードイン(Fade In)

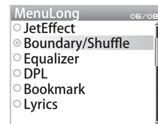
- 停止または一時停止のあと再生するとき、音量が徐々に大きくなる機能です。
- 音量が大きくなる時間を設定できます。

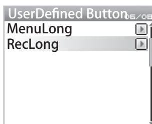


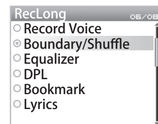
6. 充電(Charge)

- 充電可否と充電速度を設定できます。
- 「Normal」の場合は普通に充電され、「Slow 」は普通より遅く、「Off」の場合は充電を行いません。
- ノートパソコンなどバッテリ電力を使用する場合は「Slow」をお勧めします。



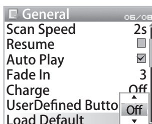






7. コントロール(Control)

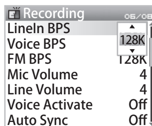
- 「MENU」ボタンと「REC」ボタンを長く押す場合に対して、ユーザが希望する設定をできます。
- 「MENU」ボタンはJetEffect、再生領域/シャッフル、Equalizer、DPL、Book Mark、歌詞を、「REC」ボタンはRECORDVOICE 、再生領域/シャッフル、Equalizer、DPL、Book Mark、歌詞の中から設定できます。



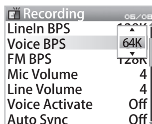
8. デフォルト設定に戻る(Load Default)

- 言語(Language)以外の設定情報をデフォルト値に戻します。

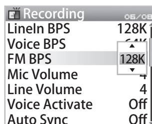
8. 録音(Recording)



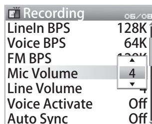
1. ラインインBPS(LineIn BPS)
- ダイレクトエンコーディング端子で録音されるファイルの品質を設定します。
- Kbpsが高いほど録音品質はよくなりますが、ファイルサイズが大きくなります。



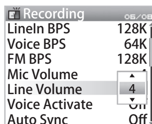
2. 音声録音BPS(Voice BPS)
- マイクで録音されるファイルの品質を設定します。
- マイクで録音されるファイルは基本的にモノです。
- Kbpsが高いほど録音品質はよくなりますが、ファイルサイズが大きくなります。



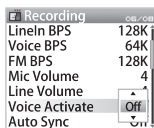
3. FM BPS
- ラジオを聴くとき「REC」ボタンを押して録音するファイルの品質を設定します。
- また、ラジオの予約録音で録音されるファイルの品質を設定します。
- Kbpsが高いほど録音品質はよくなりますが、ファイルサイズが大きくなります。



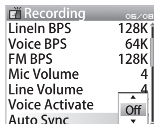
4. マイクボリューム(Mic Volume)
- マイクへ入ってくるボリュームのレベルを調節します。
- 数値が大きくなるほど音が増幅し、「Auto」の場合は自動でボリュームのレベルを調節します。



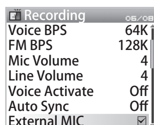
5. ラインインボリューム(Line Volume)
- ラインイン端子へ入ってくるボリュームのレベルを調節します。
- 数値が大きくなるほど音が増幅し、「Auto」の場合は自動でボリュームのレベルを調節します。



6. ボイスアクティブ(Voice Activate)
- 録音の際、音の入力がないときは自動で停止状態となり、入力があると再び録音が始まる機能で、省メモリが可能です。
- 値が低いほど音の入力に対して敏感に反応します。
- 重要な録音の場合は必ず「Off」にした後使用してください。

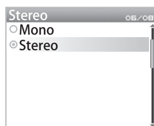


7. 自動シンク(Auto Sync)
- ラインイン端子へ入ってくる音を感知して新しくファイルを作成する機能です。
- 設定時間の間音がないと、新しくファイルを作成して録音をします。

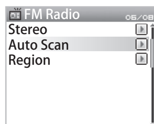


8. 外部マイク選択(External MIC)
- 内蔵のマイクまたは外部のマイクを選択できます。
- 「内蔵」の場合は、内蔵のマイクを通じて音声が録音され、「外部」の場合はラインイン端子に接続しているマイクを通じて音声が録音されます。

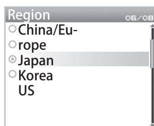
9. FMラジオ(FM Radio)



1. ステレオ(Stereo)
- FMラジオを聴くとき、ステレオまたはモノを選択できます。
- 但し、モノ放送だけをサポートする放送の場合は、ステレオを選択してもモノで放送されます。

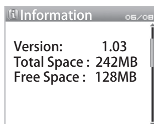


2. 自動検索(Auto Scan)
- 受信されるFM周波数を自動で探してプリセットに登録する機能です。



3. 地域(Region)
• 聴きたい国を選択する機能です。

10. 情報(Information)

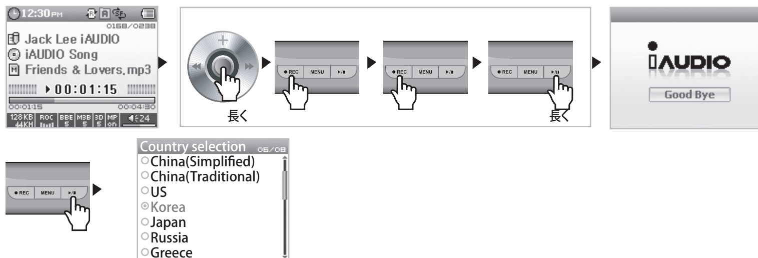


• バージョン(Version)：現在のファームウェアのバージョンです。
• 総容量(Total Space)：フラッシュメモリの全体容量です。
• 空き容量(Free Space)：フラッシュメモリの空いている容量です。

1. 工場出荷状態に初期化

iAUDIO U3には、デフォルト設定に戻る機能ばかりでなく、工場出荷時の状態に初期化する機能があります。
初期化する場合、以前設定した設定値は削除され、工場出荷時の設定値に変更されます。

1. 電源を入れた後、デジタルAVモードへ移動します。
2. 音楽ファイルが再生される画面で一時停止後次のように操作します。



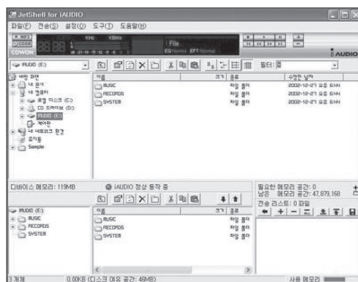
3. 初期化の後電源を入れると言語設定画面が表示されます。

-製品が誤動作するときはまず製品の下部にある「RESET」ボタンを押して製品を再スタートしてください。そうしても誤動作が続く場合は工場出荷状態に初期化してください。

2. インストールCD内のプログラムについて

iAUDIOインストールCDには世界的に有名なマルチメディア統合再生および動画変換プログラムのJetAudio VXと、iAUDIO用のマネージャプログラムのJetShellが収録されています。(その他にWindows 98、98 SE用ドライバファイルも収録されています。)
それぞれのプログラムについての詳細な使用マニュアルは該当のフォルダ内に入っています。



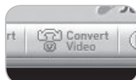


3. JetAudio VXによるファイル変換

1. JetAudio VXをインストールし、実行します。



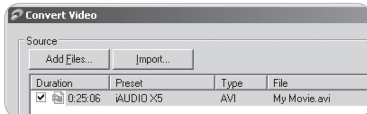
2. 動画ファイルの変換のために上部の「Convert Video」をクリックします。



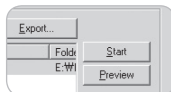
3. ビデオ変換ウィンドウが表示されたら「ファイル追加」を選択し、変換したい動画ファイルを読み込みます。



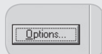
4. 読み込んだ動画ファイルを確認します。



5. 保存先とプリセットを確認した後、右上の「開始」ボタンをクリックし、変換を始めます。



- JetAudio VXで変換していない動画ファイルに対しては正常な動作を保障しません。
- コンピュータで正常に再生される動画ファイルだけ変換が可能です。
- すべてのファイルが変換できるのではありません。また、変換されても損傷のあるファイルの場合はiAUDIO U3で再生できない可能性があります。
- パソコンの性能や原本ファイルのサイズ、コーデックの種類によって変換時間は異なります。
- 「プレビュー」をクリックすると、保存せず変換画面を確認できます。
- 字幕をともに変換するか、設定を変更したい場合は「変換オプション」をクリックします。



- 「smi」ファイルは字幕ファイルで、必ず動画ファイルと同じファイル名でなければなりません。
- 動画ファイルの場合、BookMark機能とダイナミックプレイリスト機能を使用できません。

ジェットシェル(JetShell)とは?

JetShellは以下の役割をするiAUDIO用のマネージャプログラムです。

- iAUDIOへファイルを転送(Download/Upload)する機能
- Windowsエクスプローラと同じ構造のファイル管理機能
- MP3、MP2、WAV、WMA、ASF、Audio CD、再生リスト(m3u)の再生
- 転送リスト(Download List)による簡単なファイル転送
- 多様なスペクトラム、イコライザ、エフェクトサポート
- CDDB、ID3タグ編集機能
- iAUDIOロゴ転送機能
- フラッシュメモリフォーマット機能

JetShellのシステム要件

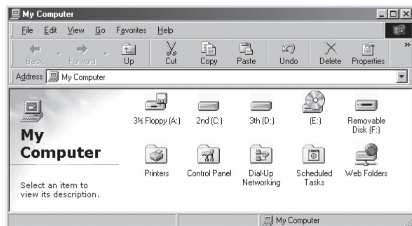
- Pentium 200 Mhz以上
- メモリ 32MB以上
- 20MB以上のハードウェアの空き容量
- 256カラー以上のグラフィックカード
- Windows 98 SE/ME/2000/XP (NTには対応しない)
- USBポート 1.1規格以上
- CD-ROM
- サウンドカード、スピーカまたはヘッドホン

1. iAUDIOのインストールCDをCD-ROMドライブに挿入すると、インストールプログラムが自動的に実行されます。コンピュータのWindowsの状態によっては自動的に実行されない場合が時折ありますが、そのときは「CD-ROM:\setup.exe」または「CD ROM:\JetShell\setup.exe」を実行してください。

2. インストールが完了すると、「スタート → プログラム → COWON → iAUDIO U3 → JetShell」が登録されます。

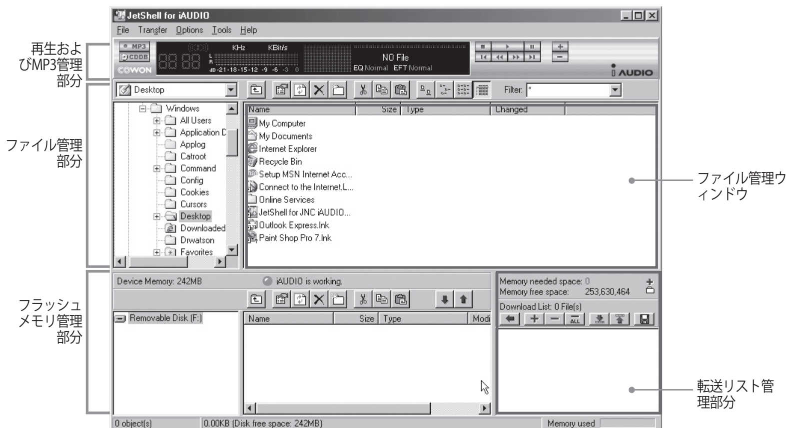
3. iAUDIOをコンピュータに接続します。(このときはJetShellを実行してはいけません。)
USBケーブルでiAUDIOのUSBポートとコンピュータのUSBポートを接続します。
(iAUDIOではUSBハーブを利用してはいけません。メインボード 自体のUSBポートに直接接続することを基準とします。)

4. ケーブルまたはUSBジャックを接続すると、正常なWindows環境なら、デバイスを検出し、iAUDIO U3 USBドライバが自動的にインストールされます。Windowsの状態によってはドライバのインストール画面が表示されないことがあります。
実際インストールが完了したか正確に確認するためには、以下のように(XP Home Edition基準)「マイコンピュータ」の中に「iAUDIO」というものがあるか確認するか、または「コントロールパネル → システム → ハードウェア → デバイスマネージャ」で確認できます。



5. 上記の過程が完了した後、JetShellやWindowsエクスプローラを使ってファイルを転送できます。

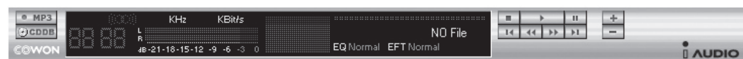
全体の姿



JetShellを実行すると、JetShellがiAUDIOドライブをコントロールするため、次の場合は必ずJetShellを終了してから使用してください。

- USBドライブのインストール
- Windowsエクスプローラでフォーマットする場合
- ファームウェアのアップグレード

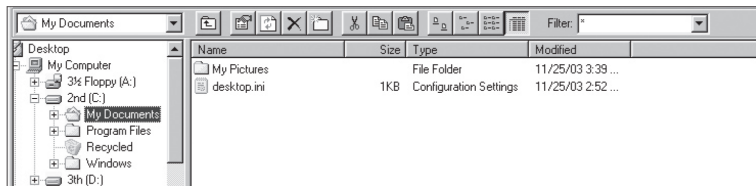
MP3、MP2、WAV、WMA、ASF、Audio CD、再生リスト(m3u)の再生



ファイル管理ウィンドウでMP3、MP2、WAV、WMA、ASF、Audio CD、再生リスト(m3u)をダブルクリックするか、上図のような再生部分にドラッグアンドドロップを行うと、直ちに該当ファイルの再生が始まります。また、複数のファイルを選択した後、再生ボタンを押してもいいです。中央の黒色の画面に、該当トラックの進行状態および曲名が左へ動きながら2種類のスペクトラムが表示されます。

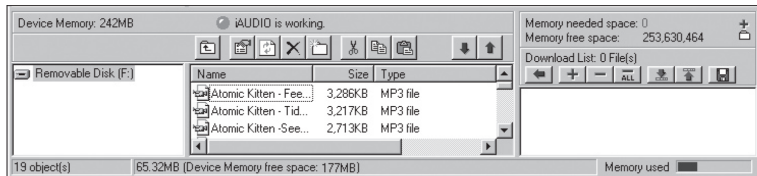
右側にあるボタンを通じてファイルの再生を開始/停止でき、「+」「-」ボタンを利用してボリュームを調節できます。再生中のトラックの特定の地点へ瞬間移動するにはポジションバーをクリックします。

MP3、MP2、WAV、WMA、ASF、Audio CD、再生リスト(m3u)の再生



JetShellのファイル管理部分はWindowsエクスプローラとほぼ同じです。左のウィンドウはツリー構造でフォルダやディスク、CD-ROMを表示します。右のウィンドウでは該当フォルダの中にあるファイルリストを表示します。

フラッシュメモリの管理

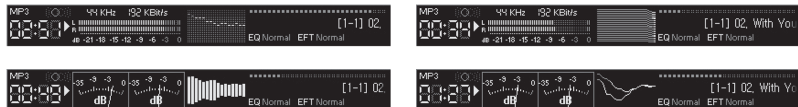


JetShellの下部はiAUDIOのフラッシュメモリ管理部分と転送リスト管理部分からなっています。

iAUDIOが正常に認識されている場合は、図のように赤色の「iAUDIO正常動作中 」というランプとメッセージが表示されます。ユーザがコンピュータからiAUDIOへ転送したファイルは中央のウィンドウに表示されます。右下に見える使用メモリ は、iAUDIOの全体フラッシュメモリのうち使用されている容量を意味します。上の画面のようにいっぱいになっているなら、iAUDIOの中には使用できる容量がほぼありません。

ボタン	機能	説明
	上へ	上位のフォルダへ移動します。
	プロパティ	該当ファイルのプロパティを表示します。
	更新	フラッシュメモリの内容を新しく読み込んで表示します。
	削除	指定したファイルまたはフォルダを削除します。
	新しいフォルダの作成	新しいフォルダを作成します。
	切り取り	指定したファイルまたはフォルダを切り取ります。
	コピー	指定したファイルまたはフォルダをコピーします。
	貼り付け	切り取ったファイルまたはコピーしたファイルを貼り付けます。
	フラッシュメモリへ転送	指定したファイルまたはフォルダをコンピュータからiAUDIOへ転送します。
	コンピュータへ転送	指定したファイルまたはフォルダをiAUDIOからコンピュータへ転送します。

JetShellは視覚的に素敵なスペクトラムを表示します。スペクトラムが表示される部分をマウスでクリックすると、以下のように画面が変わります。



また、以下のような多様なイコライザとエフェクトを楽しめます。



多様なEQ

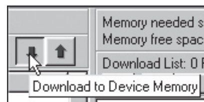
多様なEffect

MP3ファイルのiAUDIOへの転送

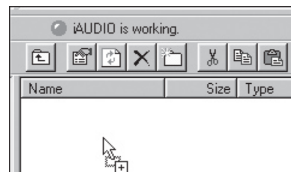
If you want to download secure WMA files (WMA files from online music store) to iAUDIO, please refer to "Downloading secure WMA files to iAUDIO". JetShell does not support downloading secure WMA files.

You can use Windows Explorer or other file management programs to download music files to iAUDIO.

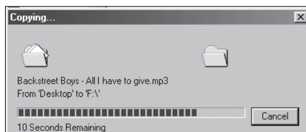
1. 音楽ファイルのiAUDIOへの転送は非常に簡単です。ファイル管理部分で転送したいファイルを選択した後、下向きの矢印ボタンを押すと転送されます。



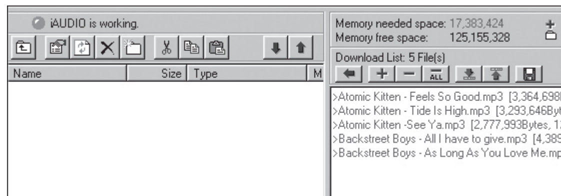
2. または、Windowsエクスプローラと同じく、ファイル管理部分でファイルを選択した後、下のウィンドウへドラッグアンドドロップすればいいです。



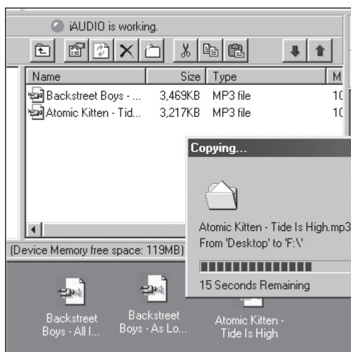
3. 転送中の画面です。転送中には絶対USBケーブルを取り外さないでください。



4. または、下図のように転送リスト管理ウィンドウに前もって登録した後転送する方法もあります。
それぞれ違うフォルダにある複数のファイルを「+」ボタンで登録した後、一度に転送するとき有用です。



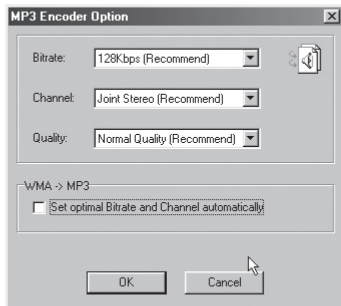
5. JetShellの外部にあるファイルをマウスでドラッグし、フラッシュメモリ管理ウィンドウにドロップしても転送されます。



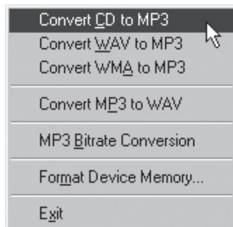
オーディオCDトラックをMP3ファイルに変換と同時にiAUDIOにダイレクト転送

JetShellを使用すると自分のオーディオCDをMP3に簡単に変換して、iAUDIOに転送することができます。MP3変換時、WAVを経ずにオーディオCDトラックをデジタル方式で直にMP3に保存しますので非常に効率的です。

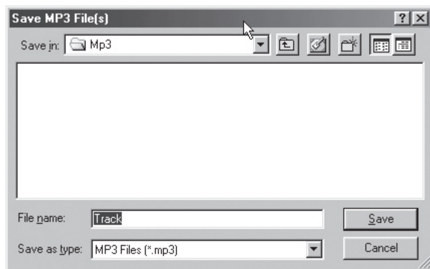
1. 作業する前に生成するMP3ファイルの品質をあらかじめ設定する必要があります。
   「Option – MP3 Encoder Option」メニューをクリックし、希望するMP3ファイルのBitrate
   （転送率）を 指定します。(Bitrateが高いほど高音質で圧縮されますが、
   ファイルサイズは大きくなります)



2. ファイル管理部でオーディオCDが入っているCD-ROMドライブを選択してから、右側のウィンドウに表示されているオーディオトラックを選択した後に [MP3] をクリックするか、Fileメニューの「Convert CD to MP3」をクリックします。



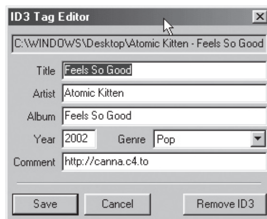
3. MP3ファイルをどのフォルダに保存するを指定します。
この時、iAUDIO(リムーバブルディスク)内の保存したいフォルダを指定します。



3. ID3タグ編集機能

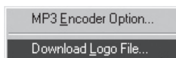
JetShellのToolメニューの「Edit MP3 ID3 Tag」機能を使用すると、希望するMP3ファイルのID3タグ情報を変更することができます。

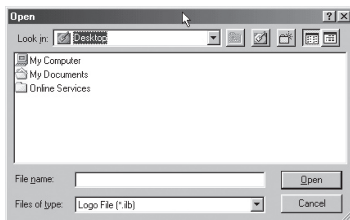




4. ロゴファイル転送機能

ロゴファイル転送機能は、iAUDIO起動時（電源オン）に表示されるロゴ画面を変える機能です。
希望するロゴを選択してから、Openボタンを押せばログが自動的に転送されて適用されます。





症状	対応	説明
製品が動作を停止し反応をしません。	アダプタを接続しても同じ現象が発生するか確認してください。	内蔵のバッテリが完全に放電している場合、アダプタで十分充電してから使用してください。放電状態によってはアダプタを接続しても即時に充電されず、約10秒後電源が入ることがあります。
	製品の下部にある「RESET」ボタンを押してください。	製品の異常状態を電源OFF状態へ切り替える機能です。
まったく音がしません。	機器のメモリにAVファイルが保存されているか確認してください。	機器の中に保存されているファイルがない場合動作しません。
	ボリュームが「0」になっていないか確認してください。リモコン/イヤホンが正常に接続しているか、また端子に異物がついていないか確認してください(異物がついていると、雑音が発生するおそれがあります。)。音楽ファイルのデータが損なわれていると、雑音がしたり、音が途切れたりすることがあります	
FMラジオが正常に動作しません。	ビルの内部または地下鉄、移動中の車の中などユーザの位置によってFMの受信感度が低下し、放送の受信状態が悪くなることがあります。また、電波の影となる地域ではラジオを聴くことが不可能である可能性があります。	
	ユーザが確認可能なすべての地域でFMラジオが動作しない場合は、受信モジュールに問題がある可能性があります。この場合はアフターサービスセンターに修理を依頼してください。	
画面に表示される文字が化けます。	「追加説明」の「工場出荷状態に初期化」を参考して製品を初期化した後、言語を再設定し、タイトル設定でファイル名にして使用してください。但し、すべての同一iAUDIO機器で同じ症状が発生する場合は、その機器は韓国語のWindowsを基準として開発されたものであって、一部の特殊フォントや言語が文字化けすることがあります。	

症状	対応	説明
コンピュータが製品を認識しません。	USBケーブルを通じて接続されている状態なら電源を入れてください。iAUDIOはWindows 98では別途のドライバのインストールが必要です。「Windows 98ドライバのインストール」をご覧ください。	
JetShellで認識ができなく、「iAUDIOがありません。」と表示されます。	コンピュータに接続している状態でWindowsエクスプローラを使って製品が正常に認識されたか確認した後、JetShellを実行します。Windows 98、98 SEでは別途のドライバのインストールが必要です。「Windows 98ドライバのインストール」をご覧ください。	
フラッシュメモリの容量が実際より少なく表示／使用されます。	iAUDIOはフラッシュメモリのうちシステム領域として使われる部分を共有しています。従って、正常な運用に必ず必要なシステム領域を除くと、実際表示されるフラッシュメモリ容量は多少減る可能性があります。	
メモリがいっぱいの状態ですが、機器が誤動作するか再生ができません。	1～2MB位の空きスペースを確保してください。	製品の中には設定ファイルが保存されています。このファイルが正しく保存されていないか、ファイルの転送中に削除/損傷された場合、誤動作が発生するおそれがあります。